

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次の通り育成することを旨とする。 1 造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、造形的に表すことができるようにする。 2 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 3 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
学年の目標	1 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 2 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 3 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

月	時 数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4 5 6 ／ 10 11 12	14	映像メディア 表現 「写真・動画な ど」	【知識及び技能】 ・映像メディアの特徴や操作方法を 理解することができる。 【思考、判断力、表現力】 ・アイデアを練ったり編集したりし ながら、創造的に表現することが できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報メディアのそれぞれがもつ特 徴を生かし、積極的な活用を図る ことができる。	【A 表現】 ○映像メディアの基礎 ・映像メディアの世界。(鑑賞) ○映像メディアの操作方法。 ・iPad の撮影方法・アプリの操作方法につ いて。 ・構図について。 ○制作 ・構想～テーマに沿って構想を練る。 ・撮影～構想を基に画像または映像を撮影 する。 【B 鑑賞】 ・作品発表 ・講評～他者の作品について良さを見つけ 発表する。 【情報：情報機器の活用】	【知識・技能】 1 段階：映像メディアの特徴や操作方法が分かり、活用するこ とができる。 2 段階：映像メディアの特徴や操作方法を理解し、効果的に活 用することができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：アイデアを練ったり編集したりしながら表現するこ とができる。 2 段階：アイデアを練ったり編集したりしながら創造的に表現 することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：情報メディアのそれぞれがもつ特徴を生かし、活用す ることができる。 2 段階：情報メディアのそれぞれがもつ特徴を生かし、活用の 幅を広げることができる。 評価方法：制作の取り組み、作品提出、レポート、出席
6 7 8 ／ 12 1 2	14	彫刻・立体造 形 「彫刻・立体 造形など」	【知識及び技能】 ・彫塑の基本や素材の使い方を理解 し、制作することができる。 【思考、判断力、表現力】 ・対象をよく観察し、形の特徴を捉 えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・彫塑の制作を通して、ものの見方、 感じ方を深めることができる。	【A 表現】 ○彫刻の基礎 ・彫刻の世界(鑑賞) ・モデリングとカービングについて。 ・素材の種類について。 ・道具の使い方について。 ・形のとらえ方について。 ○制作 ・構想～素描、アイデアスケッチなどによ り構想を練る。 ・彫刻制作～構想を基にモデリングまたは カービングにより形をつくる。 【B 鑑賞】 ・作品発表 ・講評～他者の作品について良さを見つけ 発表する。	【知識・技能】 1 段階：彫刻の基本や素材の使い方が分かり、制作すること ができる。 2 段階：彫刻の基本や素材の使い方を理解し、制作すること ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：対象をよく観察し、形を捉えることができる。 2 段階：対象をよく観察し、形の質感や特徴を捉えることが できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：彫刻の制作を通して、 ものの見方、感じ方に気付くことができる。 2 段階：彫刻の制作を通して、ものの見方、感じ方を深めるこ とができる。 評価方法：制作の取り組み、作品提出、レポート、出席
6 9 ／ 12 3	6	鑑賞 「世界の美術・ 文化遺産な ど」	【知識及び技能】 ・世界の美術の変遷や文化の特徴に ついて理解することができる。 【思考、判断力、表現力】 ・作品に込められた作者の思いや願 いなどについて、思ったこと感じ たことを意見交換することがで きる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・世界の文化遺産などのよさや美し さなどを感じ取り、美術文化につ いて関心をもつことができる。	【B 鑑賞】 ○世界の美術 ・世界美術の変遷について。 ・世界の文化遺産について。 【社会：世界の文化】	【知識・技能】 1 段階：世界の美術の変遷や文化の特徴について理解すること ができる。 2 段階：世界の美術の変遷や文化の特徴について理解を深める ことができる。 【思考・判断・表現】 1 段階：作品に込められた作者の思いや願いなどについて、思 ったこと感じたことを意見交換することができる。 2 段階：作品に込められた作者の思いや願いなどについて、思 ったこと感じたことを深め、意見交換することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：世界の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、 美術文化について関心をもつことができる。 2 段階：世界の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、 美術文化について関心を深めることができる。 評価方法：学習の取り組み、レポート(鑑賞)、出席